



地域の明日を医療で支える  
地方独立行政法人 長野県立病院機構

しるくま 



長野県立こども病院

わたし達は、未来を担うこども達のために、質が高く、安全な医療を行います。

No.31  
2014.3.28発行

# ニュースレター



長野県立こども病院だより第31号 発行日：2014年3月28日 発行者：原田 順和  
〒399-8288 長野県安曇野市豊科3100 TEL0263-73-6700 FAX0263-73-5432  
<http://nagano-child.jp/> [kodomo@pref-nagano-hosp.jp](mailto:kodomo@pref-nagano-hosp.jp)



撮影：大畑 淳

## 長野県立こども病院理念

わたし達は、未来を担うこども達のために、  
質が高く、安全な医療を行います。



## Contents

当院のアレルギー診療について… 1	臨床検査システムが新しく なりました …………… 2
手術室の紹介 …………… 2	『おもちをついたよ!』 …………… 4
「すまいるさん」が 決まりました! …………… 4	塩崎さん インタビュー…………… 4
山崎さん インタビュー…………… 5	大島さん インタビュー…………… 5
ありがとうございました …………… 5	編集後記 …………… 5

## 当院のアレルギー診療について

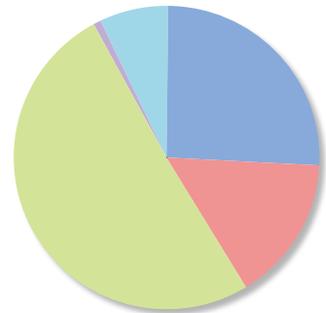
総合小児科 樋口 司

先進国を中心にほぼ世界的にアレルギー疾患の頻度が増加しています。その原因は明らかではありませんが、大気汚染、家屋構造の変化、食生活の変化、運動量の減少などさまざまな因子が指摘されています。小児におけるアレルギー疾患の中でも食物アレルギーやアレルギー性鼻炎の増加は特に顕著です。本院が本年度4回県内各地で行った食物アレルギーの公開講座には、非常に多くの方々のご参加を頂きました。東京での事故が契機になったのか約半数が教育関係者の方でした(図1)。また実際にアレルギー疾患のお子さんをお持ちの保護者の方も多くご参加頂きました。そうした社会的関心の高まりの中で、真摯な様々な情報が錯綜しています。小児診療を行っている医師の中にもアレルギー性疾患診療に力を入れている先生方がたくさんおられ、地域でのアレルギー診療を支えておられます。こうした先生方からも重症例で負荷試験を入院で行うことが望ましい症例の診療に苦慮しておられるとか、他院で不適切な除去食を指示されている患者さんがいたとか、また県外のアレルギー診療専門施設では本県からの受診患者さんが相当数いるとも聞きおよんでいます。

そこで今回そうした患者さん達が県内で適切な診療を受けられることを目的として、当院におけるアレルギー専門診療を新たな体制を構築して行っていくこととしました。アレルギー疾患診療の専門研修を終えた医師を新たに当総

### 参加者

- 一般
- 医療従事者
- 教育関係者
- 報道関係者
- その他



合小児科に迎え、病棟および外来の看護体制を整え、そこに栄養士を加えたアレルギー疾患診療チームを構成して専門的な診療を行っていくというものです。対象は地域の医療機関あるいは院内各診療科から紹介された比較的重症のアレルギー疾患の患者さんと考えています。特にアナフィラキシーを生じるような重症食物アレルギーにおいては、原因検索や除去食の評価のために、入院で安全に食物負荷試験が実施できるように準備を始めています。またすでに診療を行っている重症喘息や重症アトピー性皮膚炎などについてもさらに充実した診療体制を整えていきたいと考えています。

引き続き皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

# 臨床検査システムが新しくなりました

臨床検査科長 日高恵似子

臨床検査科では、平成25年度、臨床検査システム更新と統合生理検査システム導入を行い、それぞれ1月25日、1月27日に稼働しました。病理検査システムも臨床検査システム更新に合わせて入れ替え、病理診断の依頼や報告書の閲覧が電子カルテ上でできるようになりました。

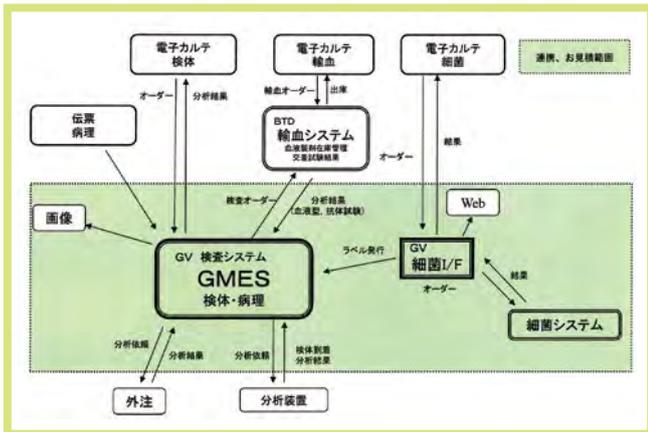
更新された臨床検査システムでは電子カルテと情報を共有することにより、検査の受付から報告までの進捗状況をリアルタイムに管理することができます。データの信頼性を高めるためのチェック機能や検体到着から検査結果報告までの所要時間解析機能、採取検体に貼られたラベルを利用した検査の実施など、より安全で効率的な検査をサポートするシステムとなりました。また、検査システム内に保存された高画質の顕微鏡写真等の画像データを、それぞれの電子カルテ端末から見るすることができます。細菌検査で

は、詳細なコメントを付加した報告が可能になりました。

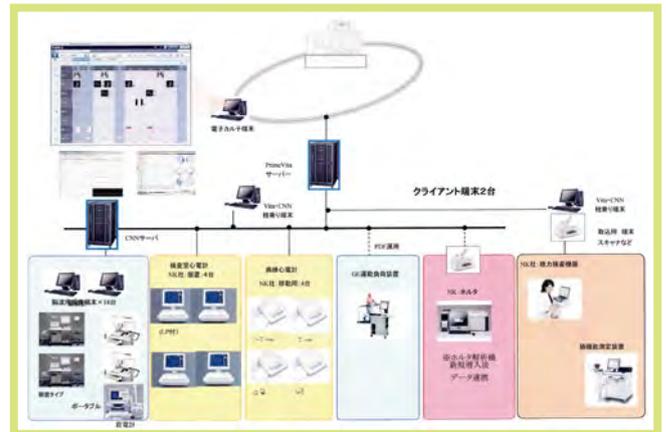
統合生理検査システムでは、オーダーと検査の実施を一体として管理することで、臨床医が目的の検査結果を電子カルテ上で容易に確認できるようになりました。生理検査結果はすべて電子データとして生理検査システムへ一元化して保存されるため、検査種別の結果抽出も可能です。脳神経システムの導入により脳波は全てデジタル化されました。ビデオを同時に記録するビデオ脳波では、脳波が取られた状況を動画で見ながら医師の説明を受けることができます。

臨床検査科では、これらの検査システムを活用し、高度小児医療を担う長野県立こども病院の診療・治療に必要な検査結果を提供していきます。

(図1) 長野県立こども病院 検査システム GMES 連携全体構成図



(図2) 生理検査システム



# 手術室の紹介

手術室はOR（オペルーム）1、2、3、5、6、7の部屋と心臓血管造影室で構成されています。各科ごとに手術をする部屋が違い、OR1では主に形成外科、OR2では心臓血管外科、OR3では脳神経外科、整形外科、OR5と6では小児外科、泌尿器外科、OR7はレーザー照射、心臓血管造影室では心臓カテーテル検査を行っています。また、産科病棟と新生児科病棟に隣接している産科手術室では帝王切開を行っています。それ以外にICUでの緊急の処置が必要な場合には手術室看護師が介助にあたることもあります。全身麻酔、局所麻酔の手術、検査、外来レーザー

を含めると年間約2,200件以上の手術をこなしています。スタッフは看護師17名、麻酔科医師9名、病棟クラーク1名で明るく、活気にあふれた職場です。業務内容としては手術を受ける患者さんの受け持ち看護師、清潔操作でDrの介助をする器械出しを行っています。平日の夜間は緊急症例にいち早く対応できるよう看護師1名が当直体制をとっています。休日・祝日も拘束体制をとることにより、緊急手術をすぐに行えるような体制をとっています。日々の業務は多忙を極めますが、患者さんの手術を無事に行い、家族の元へかえせるよう職員一同全力を尽くしてい

ます。また、手術室では手術の術前・術後訪問にも力を入れています。手術を受ける患者さんの年齢は幅広く、その患者さんの年齢に合わせたプリパレーションを行い、患者さん、その家族の不安を少しでも払拭し、最良の状態です手術に臨めるような関わりを心がけています。術後訪問の際には手術を受けた患者さん全員に手術を乗り越えた証として「がんばったねカード」を配布しています。そして後日、そのカードをもって手術室までもう一度来てもらった患者さんには記念にガチャガチャをしてもらっています。ガチャガチャの中身は職員が丹精込めて作成した手作りシー

ルになっています。手術室のもう一つの取り組みとして紹介したいのは、手術室の入口に設置してあるウェルカムボードです。このウェルカムボードは四季折々で職員が手作業でデザインを変えています。手術室内の壁面や天井にも装飾を施し、入室された患者さんが恐怖心を抱かぬよう工夫をしています。

今後も手術を受ける患者さん、その家族のために手術室職員一同、真心をこめた看護を提供できるよう努めていきます。



Welcome to the OPE室



## 『おもちをついたよ!』

第2病棟 保育士 宮澤 敦子

2病棟では、1月15日にもちつき会を行いました。

2病棟のお友達は、バギーやベッドサイドでの参加が多く、大きなきねでペッタンペッタンとつくるのは、難しいのですが、やっぱり餅つきは体験してみたい。そこで一肌脱いでくれたのが入院中の子どもの家を作ってくれた大工さん。ベッドにも乗せられるミニの「ひのきのうす」と「杉のきね」をご厚意で作ってくれたのです。

小さくても、きねがお餅をつく“ペッタン”の感覚は十分感じられ、つき上がったお餅をまるめて手につくベタベタ感も楽しめました。お餅の上にミカン代わりにオレンジ色の金平糖をのせれば、ちょっと小さいですが、立派な“おそなえ”になり、ベッドサイドに飾りました。

その後、あんこ、きなこ、ごま、くるみ、大根おろしのお餅を作り、家族やスタッフと会食。ミキサー食の子は、お餅をミキサーにかけて味わいました。

つきたてのお餅のいいニオイと優しさに包まれて、みんなで餅つき会を楽しめました。



## 『すまいるさん』が決まりました!

あいさつへの意識向上を目的にサービス向上委員会が企画した『すまいるさん』投票で、上位3名(塩崎暁子さん-チャイルド・ライフ・スペシャリスト、山崎紀江さん-NICU、大島明子さん-外来)と団体賞(日本ビルシステムズ)が決定しました。編集部では個人賞3名の方に直撃インタビューを行い、気持ちのよい「すまいる」の秘訣をうかがってきました。



塩崎暁子さん

(チャイルド・ライフ・スペシャリスト)

### ●受賞を知ったときのお気持は?

CLSの業務の中で外来や病棟など様々な場所をラウンドしてたくさんの方と顔見知りになる機会が多かったからこそ、選んでいただけたのだと思います。一番うれしかったのは、受賞を藤岡副院長に喜んでいただけたことです。恩返しのできて良かったと思いました。

### ●人と接するとき、日常的に心がけていることはありますか?

人と接する仕事として、人の名前を覚えて、挨拶と一緒に名前も呼べるようにしています。名前を覚えてもらえて嬉しかった経験もあって、自分も出来るよう

にしようと心がけています。

### ●ストレスの解消法は何ですか?

ぐっすり眠ることと、静かに本を読むことです(笑)。

### ●これからの抱負をお聞かせください。

人と接することも仕事も今まで通り頑張っていきたいです。一人職場なので、子どもたちやスタッフの皆さんからもらっているパワーを返したり、共有していけたらと思います。

……さわやか笑顔の塩崎さんでした。

(インタビュー 六川)



山崎紀江さん  
(NICU)

- 受賞を知ったときのお気持は？  
知ったときは、なんで、私が…と驚きました。今は光栄に思っています。
- 人と接するとき、日常的に心がけていることはありますか？  
強いて言えば、元気に明るく挨拶することです。
- ストレスの解消法は何ですか？  
お笑い番組を観たり、友人と話して笑うこと、楽しい妄想をすること、たしなむ程度？の飲酒などです。
- これからの抱負をお聞かせください。  
実は、自分では最近、笑顔が少なくなっ

たな、と感じているんです。この賞をいただいたからこそ、改めて、毎日笑顔でいられる自分でありたい、と思いました。

- その他、これは伝えておきたいということがあれば追加してください。  
貴重な票を入れていただきまして、本当にありがとうございました。これからは笑顔の絶えない元気な看護師でいたいと思いますので、今後ともよろしくお願ひします。

……謙虚に語る山崎さんでした。  
(インタビュー 小木曾)



大島明子さん  
(外来)

- 受賞を知ったときのお気持は？  
正直びっくりしたけれど、選んでいただき嬉しです。  
受賞した後、いろんな人に「良かったね」と声をかけられると少し気恥ずかしい気持ちですね(笑)
- 人と接するとき、日常的に心がけていることはありますか？  
笑顔で接することを大事にしています！  
患者さんを良く見て、「こう言ったらどう思うかな?」「こう接したらまずいかな?」を常に考え気をつけながら接するようにしています。

- ストレスの解消法は何ですか？  
食べて寝ることです。…できるだけ身体も動かしていきたいですね(笑)

- これからの抱負をお聞かせください。  
せっかくだいた賞なので、これからも元気に頑張っていきたいです。

……元気いっぱいの大島さんでした。  
(インタビュー 六川)

## ありがとうございました

今年度も皆様からの温かいお心により、たくさんの寄付をいただきました。

深く感謝申し上げます、ここにご紹介させていただきます。

寄付日	寄付者名
12月24日	J A あづみ豊科支所 様
平成26年 1月10日	安曇野市三郷 細田 様
1月21日	安曇野市三郷 布山 様
1月29日	松本蟻ヶ崎高等学校同窓会 様
3月10日	GAC株式会社 様

お詫び：1月20日に発行しましたしろくまニュースレターNo.30号につきまして、寄付者のお名前に訂正がございます。関係者様にはお手際を深くお詫び申し上げます。

誤	10月24日	有本 様
正	10月24日	有元 様

## 編集後記

「すまいるさん」が決定しました。いつも優しい笑顔で接してもらえると心がなごみますね。入院中は特にそう感じます。では、「すまいる君」は誰なのかな?ん～、なんだかへらへらとにやけているような…、イエイエ老若問わず男も清潔感のある笑顔が大事ですよ。

小木曾

# こども病院周辺の「さくら」観光情報

4月といえば桜の季節です。

新生活を迎える方は忙しい時期ではありますが、そこから少し離れて安曇野の桜に癒されてみませんか？

桜の見ごろや詳細等については、安曇野市HP又は安曇野市観光協会HPをご参照ください。

## 参 考

◆ 安曇野市HP

<http://www.city.azumino.nagano.jp/>

◆ 安曇野市観光協会HP

<http://www.azumino-e-tabi.net/>



### 光城山

約1,500本のソメイヨシノが麓から山頂へと咲き上がります。見頃は4月下旬。ライトアップも実施予定。

### じてんしゃ広場

常念岳に続く桜並木、時季によっては芝桜も咲き揃い、サイクリングはもちろん散策にもお勧めです。

### こども病院の横道

隠れた桜の名所です(笑)。細い横道なので県道からは見づらい場所ですが、鮮やかな桜並木は患者さんやそのご家族、職員の癒しの場となっています。